



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー **その他**

【種別】 状
【資料名】 米価騰貴麹町区窮民救助褒状
【巻次】
【副題】
【記録年】
【刊行年】 明治25年
【編著者】
【出版所】
【寸法】 縦22.5cm 横35.7cm 1枚

【略説明】

幕末から明治にかけて、蘭学者・西洋医として徳川幕府・静岡藩・明治政府に仕えた林洞海氏が、明治23年(1890年)の米価高騰の際に寄せた義援金に対する感謝状。贈呈者には当時の内閣賞勲局の三代目総裁であった西園寺公望の名がある。

林洞海氏が義援を行う前年の明治22年(1889年)は、東北や関西が風水害に見舞われるなど凶作年であったことから、翌明治23年には米価が前年比で約2倍に高騰している。都市部でも生活困窮者(窮民)が増加し、東京では餓死者が発生するほどであった。

【注記】

当時の静岡藩(明治2年に駿河府中藩から改称、明治4年の廃藩置県により廃止)には、將軍職を返上した徳川慶喜をはじめ多くの旧幕臣らが移住していた。そのなかには旧幕府の教育関係者や学者も多く、林洞海氏もその一人であった。静岡藩の教育水準は当時全国最高を誇っており、沼津兵学校のほか近代的な藩立病院も沼津と静岡に設立された。林洞海氏はこの藩立病院の勤務を経て、明治9年(1876年)には侍医に任じ正六位に叙せられている。

史料の所蔵元である沼津市明治史料館は、郷土の偉人である江原素六氏や、静岡藩の藩校であった沼津兵学校を中心に、郷土の近代化の歩みを紹介しているほか、市民の生涯学習などの場としても利用されている。

【所蔵機関】 沼津市明治史料館(江原素六記念館)

【住所】 静岡県沼津市西熊堂372-1

【連絡先電話番号】 055-923-3335

【所蔵先URL】 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/shisetsu/meiji/>

【閲覧】 要申請

開館時間：9時～16時30分

休館日：毎週月曜日(祝日は開館)、祝祭日の翌日(土曜日・日曜日を除く)、毎月最終平日、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり。

観覧料：(普通観覧料)大人 200円、小・中学生 100円(市内の小・中学生は無料)。

